

番号	27 - 19	申請者	循環器内科部長 三角 郁夫
<p><b>【審査申請課題】</b> 日本人高齢者を対象としたアピキサバンの有効性・安全性に関する検討:医師主導型多施設共同前向きコホート研究</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b> ・現時点で日本人の後期・超高齢心房細動患者を十分に含むデータベースは、京都伏見地区で集積されたFushimi AF Registryに限られる。このデータベースはNOACが使用可能となる以前のワルファリンしか利用できなかった時代の高齢者・超高齢者のデータが主である。アピキサバン服用中もしくは新規投与された高齢者を連続的に登録し、1年間のアウトカム集積を行い、アピキサバンの有効性・安全性について評価する。</p>			
審査結果	承認 ( 平成27年10月13日 )		